

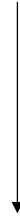
平成24年行政事業レビューシート (法務省)								
事業名	民事基本法制の整備		担当部局庁	民事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	総務課		総務課長 小出 邦夫		
会計区分	一般会計		施策名	I-1-(1) 社会経済情勢に対応した基本法制の整備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	平成18年3月23日付け「法令外国語訳・実施推進検討会議」 最終報告を前提とする翻訳整備計画等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国民生活や企業活動の基本的枠組みを定め、私法秩序の根幹を成す民事基本法を社会・経済情勢の変化に応じて適切に整備するため、以下の施策を実施し、民事基本法整備の円滑化を図ろうとするものである。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	1 外国の法制・実務についての实地調査 2 民事法関係改正円滑化の推進 3 民事法関係改正等調査研究委託 4 法令外国語訳委託							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	85	89	82	77	75	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	0	0	1	0	-	
	執行額	85	89	83	77	75		
	執行率(%)	48	55	57	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	民事基本法制の整備は、国民生活や企業活動の基本的枠組みを定め、私法秩序の根幹を成す民事基本法を社会・経済情勢の変化に応じて適切に整備するためのものであり、定量的な成果目標を示すことは困難である。			-	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	課題検討数(法案準備数)			件数	17	17	17	-
単位当たり コスト	3百万円/1件当たり		算出根拠	単位当たりコスト= 57百万円(平成23年度執行額)/17件(平成23年度の法案準備件数)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	6	5	海外調査案件の減				
	消耗品費	2	2					
	印刷製本費	1	3	広報対象法案数の増				
	通信運搬費	0	1	広報対象法案数の増				
	賃金等	33	31	賃金単価見直しによる減				
	雑役務費	35	33	過去の落札率を反映したことによる減				
	計	77	75					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	民事基本法制の立法・改正が、社会や経済に与える影響は非常に大きい。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	法務省の所管する民事基本法制を整備する事業であり、地方自治体、民間等に委ねることはできない。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	平成23年度の執行率が69.5%になっている理由は、法令外国語訳委託において入札開差が生じたことによるもの。
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ほとんどの調達を一般競争入札により行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	一般競争入札を行うなどして、コストの削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業の整備のために必要なものに限定している。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	民事基本法制に関する整備を対象としており、適切な役割分担となっている。
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 刑事基本法制の整備・刑事局 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	社会・経済情勢の変化に応じた適切な民事基本法制の立法・改正が行われている。
点検結果	<p>本事業に係る経費の支出先や使途については、調達部署と連絡を密にし、支出先と締結した契約に基づき契約金額及び内容等を把握しているほか、例えば、役務の提供や物品等の購入契約においては検収時に契約の履行状況を確認している。</p> <p>本事業は、事業の目的に示すとおり極めて重要な施策であり、25年度要求に当たっても、引き続き、各要求事項について緊急性等を精査していくこととする。また、単価・数量については、市場動向、過去の調達実績や類似調達事案等を踏まえ、これを適切に予算へ反映させることにより、一層の経費の節減を図っていくこととする。特に、法令外国語訳委託については、大幅な入札開差が生じたことから、過去の落札率を考慮するなどして適正な要求額にすべく精査を行うこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	各種調達事案について執行実績を踏まえた見直しを行い、経費の削減を図るべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	所見のとおり、法令外国語委託経費について、執行実績を反映し、経費の縮減を図った。(▲2百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0015	平成23年行政事業レビュー	0014

※平成23年度実績を記入

法務省  
57百万円

〔民事法改正のための調査研究委託契約、法令外国語訳委託契約等〕



【一般競争契約・随意契約】

A (株)商事法務ほか  
57百万円

〔民事法改正のための調査研究委託契約、法令外国語訳委託契約等〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

(注) 端数処理の関係から、一部整合しない場合がある。また、他頁の表とも、端数処理の関係から一部整合しない場合がある。

A.(株)商事法務			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
雑役務費	諸外国における保証法制及び実務運用についての調査研究業務委託	4			
雑役務費	人事訴訟事件等についての国際裁判管轄に関する外国法制等調査研究委	3			
雑役務費	国際会計基準に関する会社法上の論点の調査研究委託	2			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)商事法務 (一般競争入札)	諸外国における保証法制及び実務運用についての調査研究業務委託	4	2	94.9%
		人事訴訟事件等についての国際裁判管轄に関する外国法制等調査研究委託	3	2	97.2%
		国際会計基準に関する会社法上の論点の調査研究委託	2	1	99.5%
2	(株)エアクレーレン (一般競争入札)	法令外国語訳業務の委託	5	3	64.0%
3	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
4	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
5	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
6	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
7	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
8	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	3	—	—
9	(株)リコー (当初入札)	複写機保守料	2	随意契約	—
10	個人	非常勤職員(立法作業に伴う事務補助)の雇用	2	—	—

(注) 支出額の括弧書き, 入札者数及び落札率については, 支出先との契約が複数ある場合, 契約金額が最も大きいものについて記載している。